

栗山町まちづくり 100人委員会だより

Vol. 6

栗山町まちづくり100人委員会 委員長 尾崎 政春

「栗山町まちづくり100人委員会」は、身近な問題や疑問を感じていることなどの中からテーマを見つけ、そのことについて話し合い、多くの町民の皆さんの意見をまとめて町へ提言する組織です。

このたび町から提出された提言に対する回答書と、平成23年度総会の内容を報告します。

町より提言に対する回答書が提出されました

100人委員会が提出した提言書に対する回答書が、4月12日に椿原町長から尾崎委員長に提出されました。

椿原町長より「地域医療の問題は、町といたしましても最重要課題として取り組んでいるところです。今回ご提言いただいた主旨を十分に踏まえ、取り組んでまいります。また今年の秋頃を目途に地域医療の方向性をまとめて町民の皆さんにお示したいと考えています」とあいさつがありました。

これを受けて尾崎委員長は「今回の提言を含めて、今まで5つの提言をさせていただきました。今までの提言内容がきちんと行われているかチェックすることも100人委員会の重要な使命だと考えています。今後の推移を見守りながら、新たな提言に向けて協議を進めます」と回答しました。



提言書や回答書は、町ホームページ(<http://www.town.kuriyama.hokkaido.jp/>)でご覧になることができます。

平成23年度総会

4月21日に平成23年度総会が開催され、下記の通り確認されました。

1. 委員長・副委員長の選出

委員長に尾崎政春委員、副委員長に永田英隆委員、田中秀典委員、坂口由紀子委員が選出されました。

2. 23年度の進め方

今までの活動をまとめたパンフレットを発行し、町民のみなさんに100人委員会のPRをして活動の輪を広げたいと考えています。また、前年度から話題になっていてまだ結論が出ていないテーマや、他に確認したいことについて、次回の委員会で各委員から意見を募り、整理します。



まちづくり100人委員会の委員を募集しています！

まちづくり100人委員会は、町民皆さんの意見を行政に反映する組織です。日頃感じている身近な問題や疑問について、100人委員会の仲間といっしょに話し合ってみませんか？名前のとおり100人の組織となることができるよう、皆さんの応募をお待ちしています！

- 【参加資格】 町内に居住または通勤（学）されている方
※会議は毎月第3木曜日の19時に開催します。
- 【申込方法】 申込書に必要事項を記入のうえお申し込みください
(申込書は町ホームページでダウンロードできます)。
- 【申込先】 栗山町まちづくり100人委員会事務局
役場経営企画課内 電話 : 0123-73-7503
FAX : 0123-72-3179
メールアドレス : gyouseikeiei-g@town.kuriyama.hokkaido.jp

「地域医療の安定的確保」に向けた取り組みの推進について

本町の第5次総合計画において、“町民が安心して医療が受けられるように、医療機関と連携を図り、持続可能な地域医療体制づくりを進めます”という基本目標を掲げ、その実現に向けて取り組んでいるところですが、引き続き一層の推進を図ってまいります。

特定健康診査

生活習慣病が重症化すると心疾患や脳卒中などの発症に至る経緯をたどるということから、定期的な特定健康診査により、必要な方への特定保健指導を行うことが、きわめて重要であると考えています。これまでも受診券を直接お渡しするために個別訪問を行ったり、特定健診の理解を深めていただくために35歳～39歳の方も受診できるようにするなど、受診率向上に向けた取組を行ってまいりましたが、ご提言のありました効果的な啓発活動の推進や各医療機関との連携強化などさらなる取り組みを進めてまいりたいと考えています。

町民の受療動向についての町の考え方

救急医療への対応比率については、平成21年度の町内での完結率は56%で、周辺1市4町では一番高い状況にあり、ある程度の対応はなされていると考えています。

外来の町内受療率が72%という状況についても一定の評価ができる受療状況と考えていますが、お年寄りの方が身近な医療機関にかかることができるよう、今後も引き続き地域医療体制の維持が必要と考えています。

町内の入院率については5割を下回っている状況ではありますが、現状における町内の医療体制の中では妥当な数値と考えますが、町内の医療体制で対応できる範囲、又、町外に委ねる高度医療の範囲について、今後更に分析を続け、情報提供してまいります。

地域医療の今後の方向性

平成22年度より「くりやま医療セミナー」や「くりやま健康づくりサロン」を開催し、町民の健康づくりや予防医療の意識高揚を図るとともに、健康づくり推進協議会が行う健康づくりイベントなどの活動を支援し、町民の皆さんが身近に取り組める健康づくりを推進してまいります。

現状の体制や状況を維持するための町内医療機関の連携強化を図るとともに、平成22年度より行っています南空知南部地域（1市4町）による協議、さらには平成23年度から行っていく2次医療圏域レベルの協議により、広域的な医療連携体制を構築し、安心して医療が受けられる体制づくりを進めてまいりたいと考えています。

現在、町では超高齢社会に対応した“包括ケア体制（保健・医療・福祉・介護の連携）”の構築を目指しており、地域医療の方向性をまとめるため、地域医療対策委員会や栗山赤十字病院あり方検討会などを設置し協議しています。今年の秋頃を目処にまとめる予定で、まとも次第、町民の皆さんにお示ししたいと考えています。

また、平成22年度に設置しました地域医療・保健対策室が取り組んでいる内容などについて、町広報を含め、様々な機会を通じて、創意工夫のうえ情報発信してまいります。